

「Excel カスタム元素周期表」

操作マニュアル

(最終更新日: 2017.06.02) 作成者: kamikaya

目次

1. 支援ツール「Excel カスタム元素周期表」の概要	2
2. 作者連絡先	2
3. 取扱種別, 販売価格	2
4. 動作環境	3
5. インストール方法	3
6. 使用方法	5
7. 使用上の注意	5

1. 支援ツール「Excel カスタム元素周期表」の概要

この度は支援ツール「Excel カスタム元素周期表」をダウンロードしていただき誠に有難うございます。

本ソフトは Microsoft 株式会社が提供している表計算ソフト“Excel”のアドインファイルです。

独自のフォームに元素周期表が表示されます。本ソフトの特徴は下記の通りです。

■ユーザーフォームがコンパクト

画面の占有率が小さく平行作業に最適です。

■元素周期表の元素をクリックすると各データが表示

選択した元素の各データ(初期設定では元素記号, 原子番号, 日本語名, 英語名, 原子量)が表示されます。

■データ値のアクティブセルへの挿入が可能

取得したいデータ項目を選択した状態で元素周期表上の元素ボタンをクリックすると, その値がアクティブセルと連携したテキストボックスに挿入されます。

■既存データの編集が可能

データ値が古い場合などに備えて, データの編集機能を搭載しています。また各データにはコメント欄も用意していますので, 参考文献などの登録にお使いください。

■データ項目の追加・削除・並び替えが可能

初期設定以外の任意のデータ項目を新規追加することができるほか, 不必要なデータ項目の削除や並び替え機能を搭載しています。

2. 作者連絡先

本ソフトにおきまして不具合・質問・要望等ありましたら下記のメールアドレスへご連絡ください。またその際は件名の先頭を「【Excel カスタム元素周期表】」としてくださいますよう宜しくお願いいたします。

作者 : kamikaya

E-mail : kamikaya3103@gmail.com

3. 取扱種別, 販売価格

フリーソフト(Excel アドインファイル)

4. 動作環境

OS : Windows7, 8, 10 (32 bit, 64 bit)

その他 : 表計算ソフト Excel (2007, 2010, 2013, 2016) (32 bit, 64 bit)

ソフトはMicrosoft株式会社が提供している表計算ソフト Excel のアドインファイルであるため、使用するには Excel が予めインストールされている必要があります。

なお、本ソフトは Excel2010, 2013, 2016(以降「Excel」)がインストールされている PC(OS: Windows7, 8, 10(64 bit))での動作を確認しております。

また本ソフトは API 関数を使用していないので 32 bit 版でもご使用いただけるかと思いますが保証は致しかねます。

5. インストール方法

【インストール方法】 Fig. 1

- ① ダウンロードした「ExcelCustomPeriodicTable〇〇」フォルダー一式をパスが変わらないような場所に保管してください。アドインとしてインストールした後にパスが変更されるとアドインファイルの読み込時にエラーが生じてしまいます。
- ② Excel を起動してください。
- ③ [ファイル]→[オプション]→[アドイン]→[設定]の順にクリックし、アドイン画面を開いてください。
- ④ アドイン画面の[参照]を押すと、ファイル参照画面が開かれるので「ExcelCustomPeriodicTable〇〇」フォルダ内の「AddinFile(ExcelCustomPeriodicTable)(Ver. 〇〇).xlam」を選択してください。なお、「AddinFile(ExcelCustomPeriodicTable)(Ver. 〇〇).xlam を<ユーザー名>の Excel のアドインライブラリにコピーしますか?」というメッセージが表示された場合は[いいえ]を選択してください。[はい]を選択されますと、本ソフトの起動に必要なファイルとアドインファイルの相対パスが変わってしまうため正常に動作しない可能性があります。
- ⑤ アドイン画面で「AddinFile(ExcelCustomPeriodicTable)(Ver. 〇〇)」にチェックがついていることを確認し、[OK]を押してください。
- ⑥ 新しく生成された[Custom Tab]に[Periodic Table]というボタンが表示されていればインストール完了です。

【アンインストール方法】

- ① Excel を起動してください。
- ② [ファイル]→[オプション]→[アドイン]→[設定]の順にクリックし、アドイン画面を開いてください。
- ③ アドイン画面で「AddinFile(ExcelCustomPeriodicTable)(Ver. 〇〇)」からチェックを

はずし、[OK]を押してください。

※完全に削除する場合は上記の操作後、「ExcelCustomPeriodicTable〇〇」フォルダー式を削除してください。

1. フォルダ「ExcelCustomPeriodicTable〇〇」をダウンロードしてください
※フォルダはパスが変わらない場所に保管してください
2. Excelを起動してください

①Excelを起動

3. [ファイル]→[オプション]→[アドイン]→[設定]→[参照]の順にクリックしてください
4. ファイル参照画面からダウンロードしたフォルダの中にある「AddinFile(ExcelCustomPeriodicTable)(Ver. 〇〇)」を選択してください
※「AddinFile(ExcelCustomPeriodicTable)(Ver. 〇〇).xlamを<ユーザー名>のExcelのアドインライブラリにコピーしますか?」というメッセージが表示された場合は[いいえ]を選択してください
5. AddinFile(ExcelCustomPeriodicTable)(Ver. 〇〇)に✓が入っていることを確認した後、[OK]を押してください
6. 新しく生成された[Custom Tab]内の[Periodic Table]をクリックしてユーザーフォームが起動したらダウンロード完了です

補足: セルの右クリックメニューの「元素周期表を表示する」からもユーザーフォームの起動が可能です

補足: [Custom Tab]内の[Periodic Table]の右クリックメニューから「クイックアクセスツールバーに追加」を選択すると、Excelのタイトルバーにリンクボタンが生成されます

②[ファイル]

③[オプション]

④[アドイン]

⑤[設定]

⑥[参照]

⑦「AddinFile(ExcelCustomPeriodicTable)(Ver. 〇〇)」を選択

⑧[OK]

⑨[いいえ]

⑩アドインに✓が入っていることを確認

⑪[OK]

⑫「Excelカスタム元素周期表」のダウンロード完了

⑬[クイックアクセスツールバーに追加]

⑭「Periodic Table」をクリック

⑮[Custom Tab]が生成

⑯タイトルバーに表示

⑰右クリックメニューからも起動OK

Fig. 1. インストール方法

6. 使用方法

Fig. 2 をご覧ください。

(a)[Excelカスタム元素周期表]ウィンドウ

拡張機能表示ボタン

拡張機能(青枠内)の表示を行う。

元素周期表

元素ボタンをクリックすると、
・[元素データ詳細欄]に表示される。
・[編集]ボタンがONの場合は、[取得項目欄]で選択されたデータ項目の値がテキストボックスに挿入される。

取得項目欄

[元素周期表]の元素ボタンをクリックした際、
[取得項目欄]で選択されている項目の値が
[アクティブ連携テキストボックス]に挿入される。

装飾読み判定ボックス

アクティブセル内の文字の装飾(上付き・下付き・ボールド体・イタリック体)をチェックし、
[アクティブ連携テキストボックス]に判定文字列を挿入する。セル内の文字列が多い場合は処理に時間を要する。

編集ボタン

編集ボタンがONのとき(「編集終了」と表示される)。
[アクティブ連携テキストボックス]の編集が可能となる。OFFにすると、その内容がアクティブセルに挿入される。

Excelカスタム元素周期表

補助メッセージ

ヒントなどが表示される。

アクティブセル関連の処理時は
右端に[中断]ボタンが表示される。

アクティブセル連携テキストボックス

アクティブセルの値が表示される。

[編集]ボタンがONのとき、内容の編集が可能となる。
[編集]ボタンをOFFにするとアクティブセルにその内容が転記される。

検索ボックス

[検索種類]からデータ項目を選ぶと、[検索値]から選択されたデータ項目の値の検索が行える。また[検索値]で選択された元素に関するデータが[元素データ詳細欄]に表示される。

元素データ詳細欄

[検索ボックス]で選択された元素に関して、登録されているすべてのデータが表示される。

データ値にコメントを残している場合、フォーカスを合わせることでそのコメント内容が表示される。なおコメントの編集は[編集ウィンドウ]から行える。

記号ボタン

クリックすると、ボタンに表示されている値が[アクティブ連携テキストボックス]に挿入される。

右クリックメニューから登録文字の変更が可能である。

元素データ編集ウィンドウ起動ボタン

元素データ編集ウィンドウが開かれる。

操作マニュアル起動ボタン

(a)操作マニュアルを開く。
※アドインファイルとPDFファイルの相対パスが初期と変わっていた場合はリンクが切れるので留意されたい。
(b)[Shift]+クリックで本アドインファイルが保存されているフォルダが開かれる。

(b)[元素データ編集]ウィンドウ

データ項目リスト

現在登録されているすべてのデータ項目が表示される。

選択された項目の各元素の値が[■選択されている項目]欄に表示される。

並び替え機能

登録されているデータ項目群の並び替えを行うことができる。並び順は[Excelカスタム元素周期表]ウィンドウの各コンボボックスならびに[データ詳細欄]に反映される。

データ項目の追加・削除機能

新規データ項目の登録や既存にデータ項目の削除が行える。ただし、削除したデータ項目は復元できないため注意が必要である。

選択項目編集機能

[データ項目リスト]で選択されているデータ項目の項目名やコメントの編集が行える。なお、コメントは[Excelカスタム元素周期表]ウィンドウの[データ詳細欄]の該当項目にフォーカスを合わせることで表示される。

各元素の選択項目値リスト

[データ項目リスト]で選択されているデータ項目の各元素の値が表示される。

選択された元素の元素記号、項目値、項目値のコメントが下記に表示される。

選択元素データ編集機能

[各元素の選択項目値リスト]で選択されている元素の元素記号、選択項目値、選択項目値のコメントの編集が行える。なお、されているデータ項目の項目名やコメントの編集が行える。なお、コメントは[Excelカスタム元素周期表]ウィンドウの[データ詳細欄]の該当項目にフォーカスを合わせることで表示される。

データベースファイル表示ボタン

すべての元素データが保存されているデータベースファイルを表示する。
※データベースファイルの編集はファイル内の記述に従って慎重に行ってください。

Fig. 2. 使用方法

7. 使用上の注意

バグ対策には万全を期しておりますが、万一にも不具合が生じた際にはお手数ですが製作者へご連絡していただくよう宜しくお願いいたします。本ソフトにより生じた損害等に対しては一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。